

傾聴の技法を実践する「ライオンズクエストフォローアップセミナー」の参加者たち＝篠山市矢代で



小田中の各古墳を巡る。参加費100円。弁当4857。7月27日に予定していたが雨天のため延期していた。



城東グラウンドの改修を巡って、行政市民ら＝篠山市日置で

うちスポーツ振興くじ（totto）の助成金3933万円の内定を得ている。今年3月議会で設計管理費が承認されたが、5月に市民でつくる篠山再生計画推進委員会が、投資的事業に適合しないと答申し、市長が一旦計画を白紙に。その後、市は広報などで市民の意見を聴き、今後の方針を打ち出すとしている。

## 傾聴技法など学ぶ

ライオンズがセミナー  
中学校教諭らが参加

ライオンズクラブ国際協会3351-A地区6リジョン2ゾーン（山内脩

チエパソン）は8日、ユニットピアさやまで「ライオンズクエストフォローアップセミナー」を開いた。昨年8月、青少年の「生きる力」を養う「思春期のライフスキル教育」を学ぶワークショップを受講した小中学校の教諭ら（22人）に、前回の復習や学校現場での実践を振り返るなどして、さらなるレベルアップを図ってもらうと開催した。

今回は市内の中学校教諭5人と、同クラブでライフスキル事業を担当している会員3人の計8人が参加。「コミュニケーション能力を高める指導方法を体験したほか、模擬授業などを行い、ライフスキル教育を学校現場で展開するための具体的な活用方法を学んだ。

講師は、ライオンズクエスト認定講師の北山敏和さんが務めた。コミュニケーション能力を高める手法として、傾聴の技法を実践。2人組になり、「最近のいきごと」を一人が話し、もう一人がそれを傾聴する演習を行った。聞き役

は、傾聴のポイントとして教わった▽あいづちを打つ▽笑顔で聴く▽肯定的な返事をする一などを実践した。北山さんは「傾聴してもらうことで、話し役の方は、相手に情報を伝えられたこと以上に、うれしさや満足感が得られたのでは」と、傾聴の効果などを解説していた。

参加した男性教諭は、「今回は少人数だったから、発言の機会に恵まれるなど、深く関わられたとのへ誘惑に打ち勝つこともなくはないとか。TVドラマ化と共に大いに期待する。（E）」

会場にお目見えした日本一の木造大やぐら＝篠

丹波新聞 2014年8月14日掲載



丸広場（北新町）で開ゆつくりと休憩所で祭られるのを前に、会場りを楽しんでもらったのメインとなる木造の「ら」と話している。大やぐらがお目見えした。

地域の工務店などでつくる建築グループ「さやま百年家」が2009年から毎年制作。組み立て式の木造やぐらとしては日本一を誇るという。

また車いす利用者などのための特別休憩所も設置。祭り両日午後6時ごろから受け付けを始める。

好評発売中! 米の旨味をそのまま味わえるお酒。

蔵元直送 純吟生酒

お電話・窓口でもご注文承ります。暑中御見舞いにもどうぞ。

川紋醸造元 株式会社 西山酒造場

TEL(0795)86-0331代 http://www.tsuzumiya.com/

遺譜（角川書店）はドイツ、オーストリアと共に篠山市や丹波市が舞台となる。フルトウェングラーが書いたという説話を巡って、元特務機関将校で現在は篠山に住む老官司の周囲で事件が展開。▼戦後、日本は経済大国に仕上がったが、金儲けにばかり励んでいるうちに道徳心や謙虚さを失ってしまった。思想の力を欠いた国はどうなってしまうのか」と憂える老官司。

▼ナチスドイツの謀略活動や日独を取り巻く当時の国際環境が描かれる中で、老官司は「藤原機関」の藤原若市・元中佐のことを心服する先輩として語る。本筋とは離れた部分ながら、マレー半島の民族解放工作に奔走し、インド独立につながる国民軍の創設に功績を上げたこの人について、母校柏原高の同窓生の間でもさほど知られていないのに、よく調べたものだ。▼

「遺譜は、浅見光彦最後の事件」と副題がついているが、また復活の可能性もなくはないとか。TVドラマ化と共に大いに期待する。（E）」

めざせ!!起業 あなたの夢の実現をお手伝いします

給排